

オープン参加・タスキの作成についての規定

岡山県高体連駅伝部

1. オープン参加規定

- ①岡山県高等学校駅伝競走大会(男子・女子)に単独で出場できない学校は、出場できない学校の競技者で合同チームを編成し出場することができる。
- ②参加チームはすべてオープン参加とし、団体・個人とも表彰の対象としない。
- ③合同チームの編成に当たっては、何校で編成してもよい。
- ④合同チームの監督は出場選手校のいずれかの顧問とする。
- ⑤合同チーム出場校は、当該校長同士の許可を得ること。
- ⑥出場選手校の顧問は、原則として役員委嘱をする。
- ⑦同一校からの複数チームも参加できる(チーム名は「〇〇高校 B」等)。ただしチーム間の選手変更をすることはできない。

2. タスキの作成について

- ①岡山県高等学校駅伝競走大会において使用するタスキは、参加各校で準備する。
- ②やむを得ない理由でタスキが準備できない学校、及びオープン参加のチームは、大会本部がタスキを準備する。
- ③タスキは布製で長さ 1.6m～1.8m、幅 6cmを標準とする。
(日本陸上競技連盟駅伝競走基準による)
- ④各校で作成したタスキには校名のみ記入すること。
- ⑤赤一色・白一色のタスキは使用してはいけない。

3. その他

- ①オープン参加チームのナンバーカードは監督会議の時点で番号を決定し、参加チームで作成する。ナンバーカードは白布に黒字とする。
- ②オープン参加の参加料については、参加チームで相談し負担すること。
- ③合同チーム・同一校Bチームの記録は記録表には記載しない。別表として記録する。
- ④競技者は正式チーム・オープンチームのいずれか1チームしか参加申込できない。
- ⑤各校で作成したタスキは、監督会議に持参し、点検を受けること。また、大会当日の1区走者の最終点呼時に競技役員の確認を受けること。
- ⑥タスキに不備がある場合など、本部がタスキを認めなかった場合は、大会本部の準備したタスキを使用しなければならない。